

ごあいさつ



平素はJAとうとの事業運営に格別のご支援ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

国内経済は、底固い外需により回復基調を続けており、個人消費も雇用環境の改善を背景に緩やかに回復してきております。しかしながら雇用環境の改善に伴い全国的に人手不足が深刻な状況にあり、この地域においても大きな課題となっております。

さて、平成28年4月1日から新たな農協法が施行され、JAグループにおきましては組合員の皆様との対話を重ね、自己改革の実践による農業者の所得の増大・農業生産拡大・地域の活性化への取組みが強く求められております。

この地域におきましては、直売所への出荷者を中心に出荷品目、量の増加、品質の向上に向け、農家の皆様と協力し色々な施策を講じてきておりますが、農業の担い手不足が深刻な状況にあり、県農林事務所や地元行政と連携しながら、対応策として農業者の組織化へも鋭意努力しております。さらに、既存の営農組合とも連携を密にし、「農業の6次産業化」への取組み等にもより一層協力してまいり所存でございます。

このような情勢の中、JAとうとの平成29年度は「第6期中期事業計画」の中間年度として、各施策目標の達成に向け積極的に取り組みました結果、順調な事業実績をご報告できますことは、ひとえに組合員並びに地域の皆様方の温かいご支援ご協力の賜であり重ねて厚くお礼申し上げます。また、収益状況につきましても、地元の皆様方からのご支援に加え、株高等により当初計画以上の有価証券の配当利息等が増加したことにより、計画以上の収益を計上させていただくことができました。

平成30年度は「第6期中期事業計画」の最終年度としての諸施策を着実に実践し、地域農業の振興への取り組みは勿論のこと、組合員をはじめ地域の皆様方のお役に立てるよう役職員一丸となって努力いたす所存でございます。

今後とも尚一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。

ここに「2018年版 ディスクロージャー誌」を発行させていただきますので、ご一読いただきJAとうとへのご理解をさらに深めていただき、尚一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

代表理事組合長

水田 修

